

現場の安全かわら版 vol.2

2002.8.10 発行
宮城県土木部事業管理課
tel 022-211-3109
fax 022-211-3292
http://www.pref.miyagi.jp/jigyokanri/

特集

猿も木から落ちる ?!

「建設業の3大災害」といえば・・・

1. 墜落・転落災害 2. 建設機械災害 3. 倒壊・崩壊災害

ですが、このうち1番多いのが**墜落・転落災害**なのです。
意外にも低いところ（高さ約3m）から落ちるケースが多いので、油断は禁物!!
県の工事でも、これまでの7ヶ月間で3件も発生しています。
ヘルメットや安全帯などを正しく使い、自分の身を守りましょう!!



ヘルメット

- *壊れているところはありませんか？
- *あごひもはゆるんでいませんか？
(落ちたときにヘルメットがはずれてしまいます!)

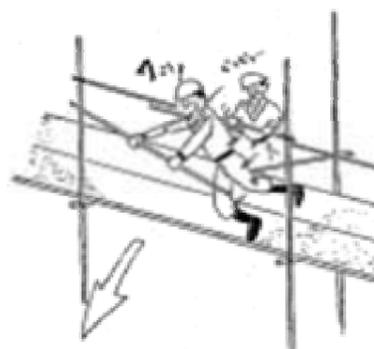
安全帯

- *ロープは切れそうになっていませんか？
- *フックは壊れていませんか？
- *ベルトは腰骨の少し上につけていますか？
(腰骨より下につけると、足の方から抜けてしまいます!)
- *フックは腰よりも高いところに取り付けていますか？
(落ちる距離が縮まり、体への衝撃が小さくなります!)
- *親綱はゆるんでいませんか？



事例

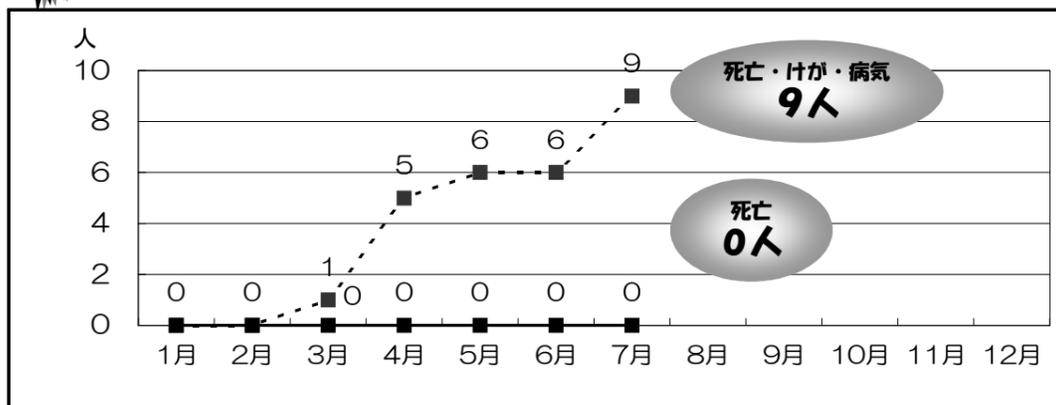
足場の解体作業中にこんな事故が起きています。
*仮設材をとりはずした反動で高さ3mから墜落し、ろっ骨などを骨折
*フックを掛け替えようとして高さ3.5mから墜落し、かかとを骨折
足場の解体作業の時は、親綱・安全帯を忘れずに使用しましょう!!



示 一 々

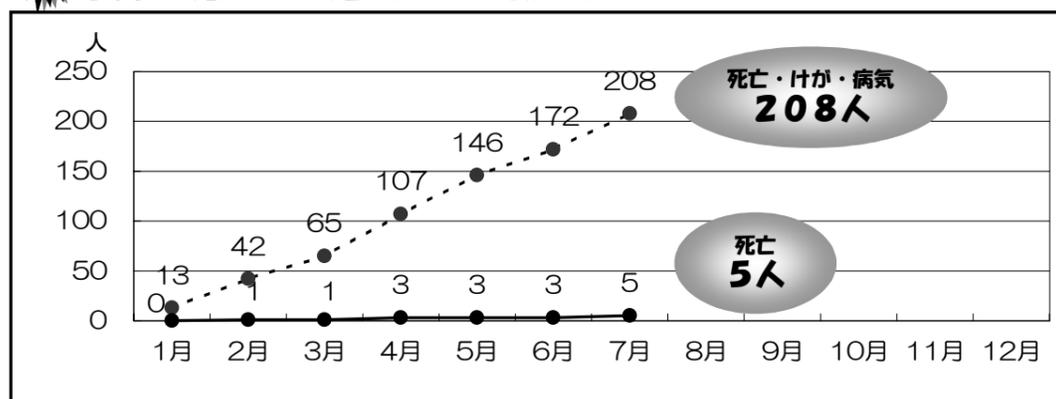
県が発注した工事での死傷災害 (累計)

平成14年7月末



県内で発生した建設業の死傷災害 (累計)

平成14年7月末



※宮城労働局統計

豆 知 識

ひるね

工事現場の昼下がり、日かげなどでひるねをしている人を見かけますが、この短時間の睡眠が、午後の仕事にとってもよい影響を与えるそうです。
ひるねをすることで頭がスッキリして体が軽くなり、単調な作業でも眠気が起こりにくくなるのですね。集中力もアップして、ちょっとした不注意から発生する事故防止にも効果あり!!
それなら、ひるねの時間は長ければ長いほどよいのでしょうか？
時間が長すぎると深～い眠りに入ってしまい、かえって体が重くなったり、頭がボーッしたりするので要注意。
15分くらいがちょうど良いひるね時間のようですよ。

